

2. 調査・解析結果

検討項目

要

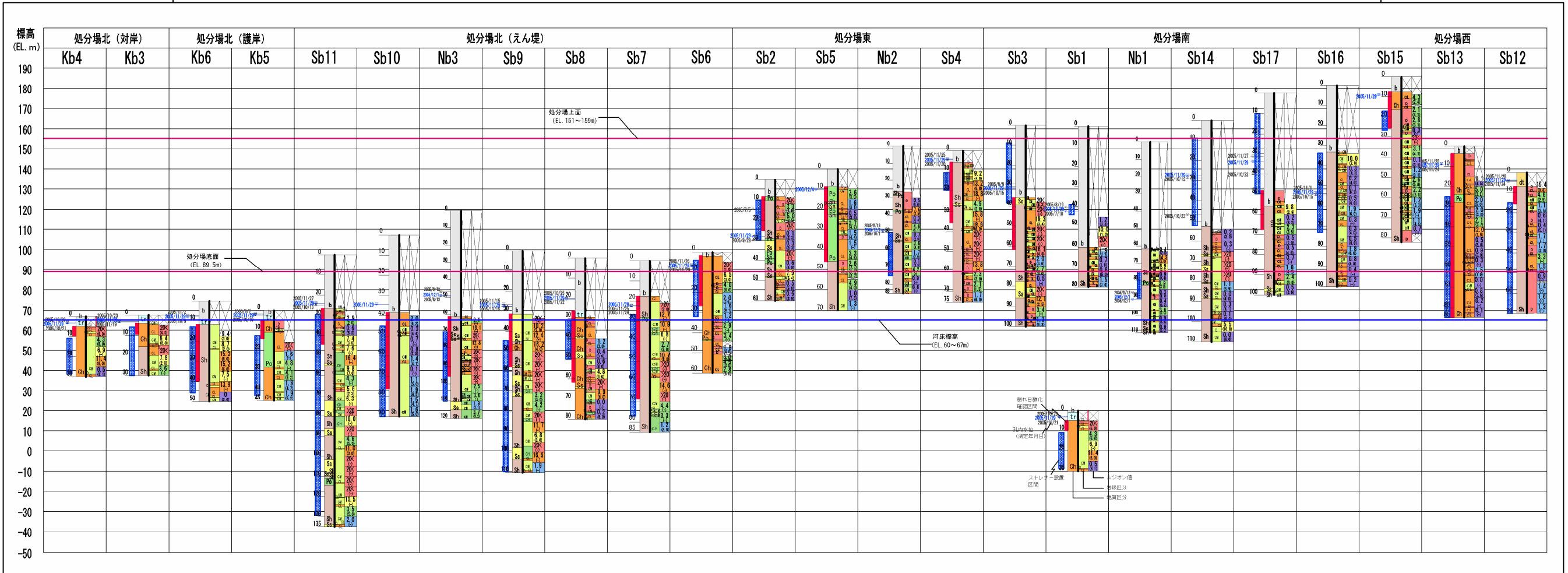
点

備考

2.1 ボーリング調査結果概要

ボーリング調査結果を簡易柱状図として整理し、図-2.1.1に示す。簡易柱状図は、ボーリングコア観察ならびに透水試験結果をもとに、地質、岩盤状況ならびに透水性状を、表-2.1.1に示す基準（区分）をもとに分類し作成したものである。なお、簡易柱状図の区分、凡例の詳細は、次頁を参照されたい。

図-2.1.1 ボーリング調査結果（簡易柱状図一覧）



Sb-1, Sb-2はH16年度実施

図-2.1.1 ボーリング調査結果（簡易柱状図一覧）

2. 調査・解析結果

検討項目

要 点

備 考

2.1 ボーリング調査結果概要

表 2.1.1 ボーリング簡易柱状図 表示内容凡例

表2.1.1 ボーリング簡易柱状図 表示内容凡例

(1) 地質区分 一覧表

地質時代			地質記号	地質
新 生 代	第 四 紀	完 新 世	b	盛 土 (礫, 砂, 粘性土)
			w	廃 棄 物 (瓦礫, 廃プラ, 金属クズ, 汚泥, シュレッダーダスト, 一般廃棄物など)
中 生 代	ジ ュ ラ 紀	櫛 曲 コ ン プ レ ッ ク ス	Po	ひ ん 岩
			Sh	頁 岩
			Ss	砂 岩
			Ch	チャート

(2) 岩級区分 一覧表【細区分組み合わせ基準】

硬軟	コア形状	割れ目状態			
		a	b	c	d
A		CH	CH	-	-
		CH	CH	-	-
		-	CM	-	-
B		CH	CM	-	-
		CM	CM	-	-
		CM	CM	CL	-
		-	CL	CL	-
C		-	-	-	-
		-	CM	CL	-
		-	CL	CL	CL
		-	CL	CL	D
D		-	CL	CL	-
		-	-	-	D
		-	-	-	D
E		-	-	-	D
		-	-	-	D
		-	-	-	D

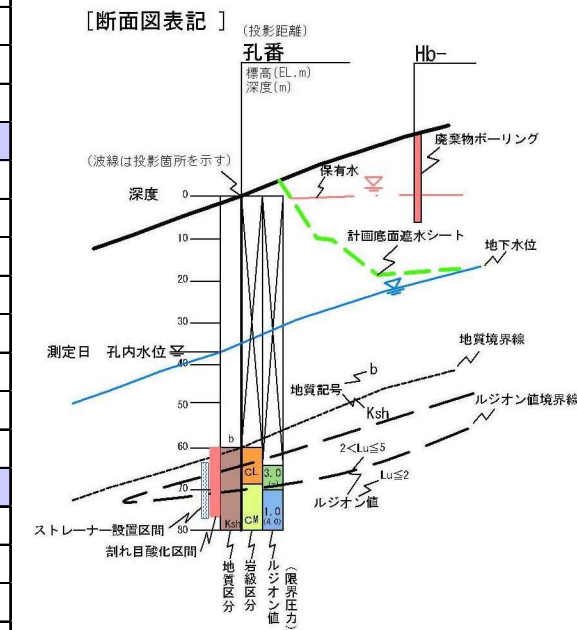
(4) ルジオン値 一覧表

着色	ルジオン値
ピンク	20 < Lu
オレンジ	10 < Lu 20
黄色	5 < Lu 10
緑	2 < Lu 5
青	1 < Lu 2
紫	Lu 1

(3) 岩級区分 細区分基準一覧

記号	硬軟区分
A	極硬, ハンマーで容易に割れない
B	硬, ハンマーで金属音
C	中硬, ハンマーで容易に割れる
D	軟, ハンマーでポロポロに砕ける
E	極軟, マサ状, 粘土状
記号	コア形状
	長さ50cm以上の棒状コア。
	長さが50~15cmの棒状コア。
	長さが15~5cmの棒状~片状コア。
	長さが5cm以下の棒状~片状コアでかつコアの外周の一部が認められるもの。
	主として角礫状のもの。
	主として砂状のもの。
	主として粘土状のもの。
	コアの採取ができないもの。スライムも含む。
記号	割れ目状態区分
a	密着している, あるいは分離しているが割れ目沿いの風化・変質は認められない。
b	割れ目沿いの風化・変質は認められるが, 岩片はほとんど風化・変質していない。
c	割れ目沿いの岩片に風化・変質が認められ軟質となっている。
d	割れ目として認識できない角礫状, 砂状, 粘土状コア。

(5) 柱状図・断面図凡例



1 岩盤の評価は、ボーリング柱状図作成要領(案)解説書(改訂版)、(財)日本建設情報総合センター(平成11年5月)による。

2 本試験は、ルジオンテスト技術指針同解説、建設省河川局開発課(昭和59年6月)に準拠して実施した。

【参考】  
1Lu (ルジオン)  
: 1.3 × 10<sup>-5</sup>cm/sec相当